

総務文教委員会委員長報告（管内視察）

1.視察日 令和5年7月11日、7月12日

2.視察施設数 13件

3.事務調査結果 下表のとおり

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
消防本部	椎名コミュニティセンター	どのような事業を行うための施設か。	消防分団屯所としての機能のほか、広間や備蓄倉庫も完備している。施設は14.5mの高さに建設予定であり、津波浸水区域外となるため、避難所としての機能も有する。
		土地の所有者は何名いるのか。また、工事のスケジュールについて聞く。	用地は2筆で、地権者も2名である。土地の売買契約は、基本的な合意を得ており、秋から冬にかけて造成工事を着工する予定である。工期は、年度内完成が難しい可能性が高く、繰越対応も検討している。
人権啓発課	佐喜浜市民館	駐車場の入口が狭い。国道側から進入できる十分なスペースを確保できないのか聞く。	西隣にある市民館駐車場の柵を一部撤去等できないか館長と協議中である。
財産管理課	室津川団地	以前入居していた方は何世帯入居するのか。また空き部屋があった場合は、募集を行うのか。	以前の団地に入居していた5世帯が新たな団地へ入居予定である。残りの部屋については、今後住宅の集約化や新たな入居者の公募を検討していくことになる。
総務課	室戸岬出張所	出張所南側にある住宅は、公民館敷地内へ建設しているのか。	公民館の一室を出張所としているので、公民館の敷地の範囲については、総務課では把握していない。
生涯学習課	菜生教育集会所	今後も教育集会所を使用する予定はないのか。また使用しない場合は、解体するのか。	現在のところ使用する予定はない。解体については、劣化の度合いが激しいものなど優先順位をつけて行っていく。
		年間の維持管理費について聞く。	光熱水費が発生しているのは、現在使用されている明神川教育集会所等のみである。
まちづくり推進課	あおぞらだんち	8区画中1区画がまだ残っている。完売に向けてどのように取り組んでいくのか聞く。	庁内で協議を行い、新聞折り込み等に取り組み早期に完売できるよう努める。

所管課	施設名	質疑内容	答弁内容
学校教育課	羽根小学校	地震発生後の避難手順について聞く。	地震発生時は身の安全を確保する。揺れがおさまったら校門に集合し、点呼確認を行ってから一時避難場所に向かうようにしている。
	室戸中学校	山や高台へ避難する途中で津波に襲われる可能性があると思う。校舎の屋上で津波がおさまるまで待機できないのか。	当初は耐震改修工事を行い、屋上へ避難する計画であった。しかし、校舎の耐浪調査で津波による横すべりや転倒の危険性があることがわかり、現在は、山や高台等の校舎以外の場所に避難を行うようにしている。
	佐喜浜小学校	津波の想定浸水高と、避難場所はどこになっているのか。	浸水高は2～3mである。小学校の避難場所は海拔24.7mのお寺近くの広場である。
	佐喜浜中学校	海岸沿いの学校は基本的に屋上に逃げて良いと考えるがどうか。	津波避難については、第1は高台や山へ逃げることを優先し、万が一間に合わない時は避難タワー等に緊急的に逃げるという考えである。高台や山へ避難すれば、さらに上へ逃げるができるため、まずは山等へ逃げることにしている。
防災対策課	吉良川西灘津波避難路	山手線を避難経路として整備を行う計画はないのか聞く。	担当課とも協議しながら、検討していく。
	浮津西町津波避難タワー	収容人数が140名との説明であったが、収容人数はどのように決めたのか聞く。	収容人数については、世帯数を考慮した。また、高台の避難場所に逃げ遅れた方も対象としている。
		今後浮津下町などの中心部に、津波避難タワーの建設計画はあるのか聞く。	現時点での計画はない。
吉良川西灘津波避難タワー	質疑なし※		

※防災対策課所管の吉良川西灘津波避難タワーについて、「現在の場所では、海へ向かって逃げることになるので、旧国道北側に建設を希望する住民意見もあったが、適地がなかったため、希望地でなくても避難タワーが建設された方が望ましいということで現在地への建設に賛成したという経緯は記憶しておいてもらいたい」との意見あり。